

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.5</b>	1.00			<b>2.5</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40	2.9	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁:RC(厚200) →Dr-53	3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.9</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	2.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		3.6	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	ロビー2.4 客室(Cタイプ)1.7	4.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	客室:カーテン+庇(バルコニー)	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.9</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	全てF☆☆☆☆、またクロルピリホスの使用禁止	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	禁煙の上、喫煙室を設置	5.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.1</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	客室面積46㎡以上	3.0	-	5.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観	客室天井高2.5m(トイレ・洗面室・廊下を除く)	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内装仕上げ 壁:ビニールクロス、床:長尺シート	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4	信頼性		3.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.30	2.2	1.00	2.6
	3.1	空間のゆとり		-	1.4	0.50	
		1 階高のゆとり	3.0	-	1.0	0.60	
		2 空間の形状・自由さ	3.0	-	2.0	0.40	
	3.2	荷重のゆとり	3.0	-	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性	3.0	1.00	-	-	
		1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
		6 バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.4
	1	生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	3.0
	2	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
		既存樹木の保存及び修復、建物高さの配慮					
	3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.30	-	-	3.0
		3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
		3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.7
	1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.76	4.0	0.20	-	4.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	3.0
	3	設備システムの高効率化	BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.66 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	4.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	一次消費エネルギー BEI <sub>m</sub> 0.66	4.0	1.00	-	
		集合住宅の評価(3c)		-	-	-	
	4	効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
		4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	
		4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	
		集合住宅の評価		-	-	-	
		4.1 モニタリング		3.0	-	-	
		4.2 運用管理体制		3.0	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
	1	水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
		1.1 節水	節水型便器の採用	4.0	0.40	-	
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
		1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
	2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	2.4
		2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	3.7
		3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	
		1 消火剤		-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の断熱材の使用	5.0	0.50	-	
		3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
	1	地球温暖化への配慮	LCGO2排出率72%	4.1	0.33	-	4.1
	2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	2.8
		2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	
		2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	
		1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
		2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
		3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	
	3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	3.1
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
		1 騒音		3.0	1.00	-	
		2 振動		-	-	-	
		3 悪臭		-	-	-	
		3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.3	0.40	-	
		1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
		2 砂塵の抑制		3.0	-	-	
		3 日照障害の抑制	日影規制3h/2hを満たし、最も厳しい箇所でも2時間以内とした。	4.0	0.30	-	
		3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
		2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	